

第2回 三郷町デジタル交通サービス推進協議会 議事録

1. 会議議事

- 日時：令和5年2月15日～21日
- 場所：書面による開催

2. 議事録

(1) 実証実験実施計画（案）について

- ・ 全会一致で三郷町デジタル交通サービス実証実験実施計画（案）が承認された。

実証実験実施計画の策定に向けたご意見

■ 喜多会長（神戸大学名誉教授）

- ・ 「人を対象とする実験」なので、倫理面での問題がないことを予めチェックしておくことが望ましい。

（参照：立命館大学 人を対象とする研究倫理指針 チェックシート(様式1)）

<https://www.ritsumei.ac.jp/research/approach/ethics/mankind/>

→（事務局）

実証実験実施計画においては、実験モニタの安全確保、事前の説明・同意書の取得、アンケート調査結果等の公表におけるプライバシー保護等、倫理面に配慮した実証実験であることを、追加項目として記載致します。

■ 中野委員（東京大学教授）

- ・ 10名程度が乗車可能な小型バスタイプの車両1台を使用する。と書かれているが、ナビヤ社のアルマのような電動自動車か。それならば最高速度は20km/h未満となり、実証実験に向けての対策も変わってくる。もう少し具体的に車種を決めた方が良いのではないか。

→（事務局）

本実証実験では、現地の周辺交通環境への影響を考慮し40km/h等の周辺交通と同様の規制速度相当で走行可能な車両を用いることを想定しています。実証実験実施計画においては、「4. 使用車両」に実験時の走行速度について追記します。

- ・ 過年度の事業で作成された高精度3次元地図を使うとあるが、そのデータを使って自動走行できる車両であるかは確認する必要がある。また、意外と道路構造物は変化するので、実証実験前に更新することを計画に入れておいた方が良い。

→（事務局）

実証実験実施計画において、実証実験前の高精度3次元地図の更新（実験準備）を、「10. スケジュール（案）」に追記します。

- ・ レベル4 自動走行では遠隔監視システムの導入が必須になるが、今回は検討外と
考えて良いか。

→ (事務局)

本実証実験では、遠隔監視システム（遠隔制御なし）の導入について想定して
いませんが、実証実験終了後、本実証実験の結果を踏まえ、令和6年度以降の実証
実験に向けて遠隔監視システムの導入必要性について検討します。

- ・ 信号交差点があるが、信号連携はどのように行うのか。インフラ協調を考えるの
であれば、V2I かV2Nになる。V2I（760MHz 帯）も候補と思うが、V2N の導入も検
討されてはどうか。

→ (事務局)

本実証実験では信号連携を実施せず、車載センサ（カメラ画像解析）のみでの信
号交差点の通行を予定しております。本実証実験の結果を踏まえ、令和6年度以
降の実証実験に向けて信号連携（V2I、V2N）の導入必要性について検討します。

■ 黒松オブザーバー（国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所 管理第二課長）

- ・ 車両サイズ、車両の乗り心地のアンケートを実施されるのであれば、乗用車タイ
プなどの車種も実証車両と使用することはどうか。

→ (事務局)

本実証実験では、乗用車タイプなどの車種についての実施は想定していません。
令和6年度以降の実証実験に向けては、本実証実験と異なる車種での実証につ
いても検討します。また、実証実験実施計画において、「8.2.3. サービス適用性
の検証（2）移動支援サービスとしてのニーズ：利用者／住民アンケート」につ
いて内容の充実を図ります。

- ・ 来年度の実証実験の運行期間を記載することは可能でしょうか。P22 のスケジュー
ール（案）に2週間と記載されていますが本編にも記載してはどうか。

→ (事務局)

実証実験実施計画において運行期間について、「7. 実証運行の内容」に追記し
ます。

■ 網蔵オブザーバー（奈良県 リニア推進・地域交通対策課課長）

- ・ FSS35 内の社会福祉施設利用者や居住者に自動運転の監視要員やドライバーとな
ってもらうことで、様々な背景を持つ人々が活躍する場の創出と、公共交通の充
実を同時に図りたいという話があったが、町民の理解が浸透していないと、乗車
に対する心理的抵抗の一端となる可能性もあると考える。社会受容性の検証に当

たっては、本格運行時に想定している、社会福祉施設利用者や居住者が自動運転運行に不可欠な監視や非常時介入等を担う点についての受容度や、利用者の感じる懸念点（逆に言うと、何をクリアすればインクルーシブな交通が利用者に受容されるのか）について、調査を行ってはどうか。

→（事務局）

実証実験実施計画において、「8.2.3. サービス適用性の検証（2）移動支援サービスとしてのニーズ：利用者／住民アンケート」について、ご指摘の観点から内容の充実を図ります。

以上